

史料群番号 21

史料群名	しのづか 篠塚家文書	旧所蔵者	(篠塚権右衛門)
探訪時住所	(茨城県鹿島郡波崎町)		
現在の住所	(茨城県神栖市)		
探訪年月	昭和25 (1950) 年 7 月		
史料の年代	元文2 (1737) 年～昭和14 (1939) 年	史料の 総点数	137点
年代の内訳	近世 2点/近代 128点/不明 7点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「平成十八年三月 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県・茨城県・栃木県・千葉県関係史料-水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

「篠塚権右衛門家文書」の「収蔵にいたる経緯」参照。

史料群の概要

元来、「篠塚権右衛門家文書」と一体だったと考えられるので、同史料群の概要も合わせて参照していただきたい。

「篠塚権右衛門家文書」が帳簿のみだったのに対して、本史料群の文書は帳簿が多数を占めているものの、一紙、仮綴などいくらか多様である。

鯛地曳網の経営に関する帳簿が10点ほどあり、水主の持株に応じて売り上げを配分した際の明治15年1月「株買立諸掛帳」など「網支配人」としての活動事跡を示している。

篠塚権右衛門は近代になって、戸長役場の副戸長に就き、地租改正、徴税などの行政に関わりをもっていたと考えられる。

酒類販売にも関わっていたとみえ、明治26年1月「営業者商金高届」には「卸小売商 一金百拾 壱円三拾九銭 篠塚権右衛門」と書かれている。また真言宗智山派の寺院、宝蔵院の檀家惣代を勤めたことを示す史料数点が含まれている。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。